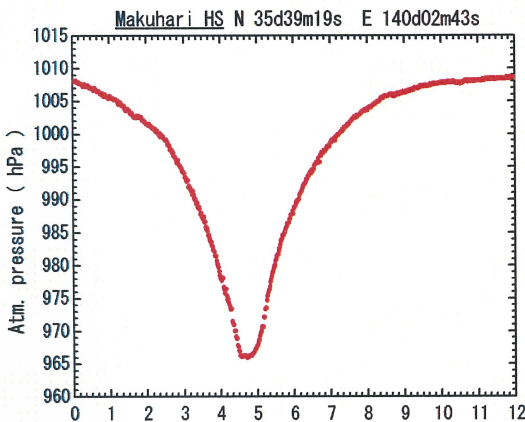
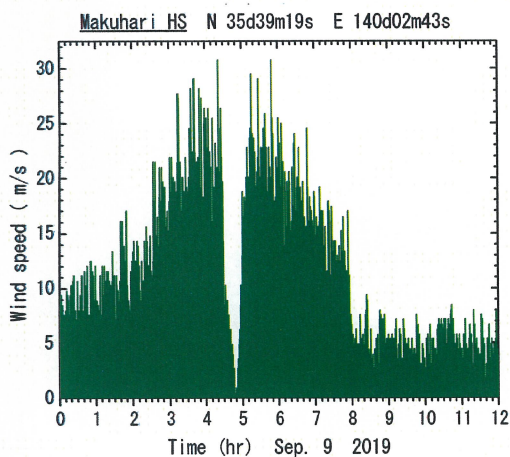


台風15号の気象観測結果



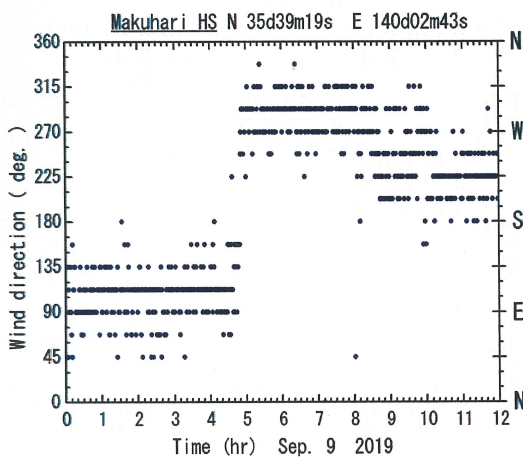
気圧変化

気象情報などでは、台風15号の中心気圧は、965 hPaであった。本校では4時半過ぎに最低気圧967 hPaを記録しており、ほぼ台風の中心が通過したと思われる。



風速変化

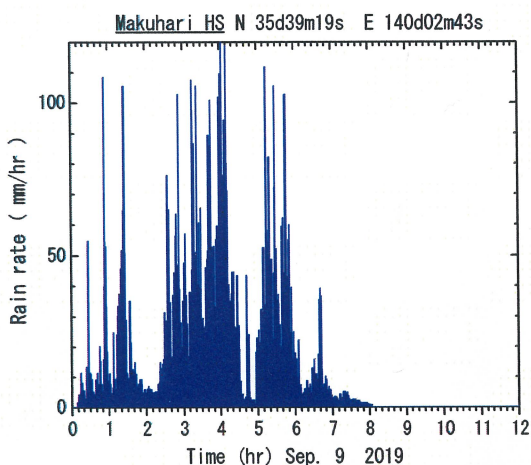
4時45分頃に風速が0 m/sになっている。「台風の日」が通過したと考えられる。最大風速は、30.8 m/sを記録したが、瞬間風速は、40 m/s以上であったと考えられる。



風向変化

方位角 0° -->N 90° -->E
180° -->S 270° -->W

台風が通過した後、風向が大きく変化している。このことは、台風の風は、中心に対して反時計に吹き込むことで説明ができる。



雨量変化

台風の雨雲は多重渦を巻いているため、雨が断続的に強くなるようすが記録された。台風の進行方向前面の雨雲が発達していた。